

入学式式辞

例年にない寒い三月が過ぎ、心待ちにしていた春の日が訪れました。今日のよき日に、石川県立金沢錦丘中学校第二十一回入学式が、御来賓のPTA役員の皆様をはじめ、保護者の皆様の御列席のもと盛大に挙行できますことを、大変喜んでおります。

百二十名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。県内外の小学校からこの金沢錦丘中学校を選んだ皆さんは、大きな夢と希望を抱いて入学されたことと思います。皆さんの入学を心より歓迎します。また、保護者の皆様にも、めでたく入学されたお子様の晴れの姿をご覧になり、嬉しさもひとしおのこととお察しし、心からお祝いを申し上げます。

本校は、六年間に渡り、継続的、計画的に指導を行い、生徒の能力を思う存分伸ばすために開設された併設型中高一貫教育校であります。六年後の叶えたい夢の実現とともに、将来、地元石川県はもちろん、国内、国際社会にて活躍できる人の育成を目指しています。

そのため、錦丘の六年間を二年、二年、二年という三つのステージに分けて学びます。皆さんが入学して始まる二年間は、六年の学びそして生涯にわたり役立つ、読み・書き・計算のような基礎、そして各教科の法則や公式などの基本を身につける「基礎充実期」です。そして、身につけた基礎を生かして中三・高一の「探究期」、高二・高三の「発展期」につなげてください。

さて、そんな皆さんに、本校での学校生活を有意義に送るための二つのお願いをします。

一つめは「慌てずに着実に興味を持って学ぶ」ことです。もしかしたら、はじめは小学校の時のような勉強の結果が出てこない生徒もいるかもしれません。しかし、六年間という長い時間があります。興味を持って学ぶと良い結果が出るようです。慌てずに着実に学び皆さんの夢を実現させてください。

二つめは、「友達と自分との違いを受け入れて仲良くすること」です。今、世の中では多様性を受け入れることが求められています。北陸新幹線が開通し、金沢駅をはじめ園内の駅には言葉も文化も違う外国からの観光客が多くいます。みんな日本や石川県の文化やマナーを受け入れて楽しく旅行をしています。皆さん21期生も、県内外五十七の小学校から百二十名の生徒が入学しました。一人一人生き方や考え方にちがいがあるかもしれませんが素敵な個性の集まりです。友達の個性を理解して受け入れて仲良く過ごし、成長してください。

結びに、御多忙の中、御臨席をいただきました来賓の皆様、保護者の皆様、私たち教職員一同は中高一貫教育校としての責務を果たすために、生徒が最高の自分を見つける教育に努め、信頼される学校を創り上げていく決意をしております。どうか、保護者の皆様方には、生徒の健やかな成長のため、良好な家庭を築き、家庭と学校の連携・協力をお願いします。

新入生の皆さんが、金沢錦丘中学校の生徒としての誇りと自覚をもち、しっかりと前に踏み出すことを願い式辞といたします。

令和六年四月五日

石川県立金沢錦丘中学校長 嶋 耕二